

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	2025年11月 15日		～	2025年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数)	11名
○従業者評価実施期間	2025年11月15 日		～	2025年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月19日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	園と一体化の為、連携が取れやすく情報共有が出来る。	個別支援計画作成の際、園の先生と話し合いをしながら子どもの出来ることや集団での活動で出来ないことなどを共有している。 また、療育状況などの共有も定期的に行い、クラスでの集団生活を見据えた支援を行うようしている。	困りごと、その際に有効であった関わり方を記録、共有することで支援方法の共通理解を深め、支援の統一化と早期対応につなげる。
2	園に子どもがいるので保護者が送迎しなくて良い。	園に子どもが居る為、時間になったら指導員がクラスにお迎えに行き時間通りに療育が始められる。	保護者が見学に来れない場合、フィードバックが十分に行えないことがあったため、なるべく見学にいらしていただけるように話をする。
3	予約が取りやすい、園活動に被らないコマ数を当てている。	朝9:00～ 午後は12:50～とクラスの活動やイベントなどが途中で抜けずに療育が出来る時間割にあえてしている。	園の行事や集団活動の流れを尊重した時間設定を継続し、園生活のリズムを崩すことなく子どもが無理なく療育を受けられる環境づくりを行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所に通っている家族同士で関わる機会が少ない。	小さいお子さんがいたり、働いている方も多くなかなか機会を設けることが難しい。	園行事を活用するなどして、少しの時間でも家族同士で話し合ったり、同じ悩みを持つ家庭同士が情報交換する機会を作れるよう検討していく。
2	一体的な運営における連携方法や療育知識の共有。	会議や研修等の機会を設け、園の職員に向けての働きかけも行っているが、一体的な運営は初めてのケースであるため、相互理解に時間を要している。 事業所内でも、それぞれ異なる経験を有する職員が在籍しているため、統一に時間を要する。	事業所内では、引き続き毎週水曜日に療育内容や状況、相談事項を話し合う時間を確保していく。 お互いが受けた研修の情報も共有していく。 園とも引き続き連携会議等を通して、クラス担任との効果的な連携方法を模索していく。
3	みどりが丘幼稚園との連携はあるが、就学先の小学校等の連携が十分に行えていない。	一体的な運営を行って1年目であることで、担任を通しての引継ぎになっている実態があり、連携等軌道に乗るのに時間を要している。	今後は就学先の小学校への引継ぎの際に、同行して情報共有を行う。